

話題性のある出来事に便乗した、悪質な勧誘手口にご注意!

2014年11月15日号

証券会社を名乗る者から、「iPS 細胞を手掛けている A 社の株を買う権利に当選したので買わないか？」と勧誘され、それを断ると「購入できる権利を譲ってもらえないか、お金はかからない」と持ちかけられたという相談が、高齢者を中心に増えています。

これらは詐欺的な悪質商法で、その時々で話題になっている出来事や事件を利用してくる場合が多く、例えば iPS 細胞や東京オリンピックをネタにした投資や、企業の個人情報漏えいをネタに公的機関を名乗って「あなたの個人情報を削除してあげる」と話を持ちかけてきます。「代わりに購入してほしい」、「名義を貸してほしい」、「既にあなたの名前で買った」などと言われたら注意が必要で、相手にせず、すぐに電話を切ってください。また、高齢者が同様の悪質商法の勧誘を受けていないか、周囲の人が見守ることも大切です。